

FIT1.5 チャレンジ

Rd 3 レースレポート

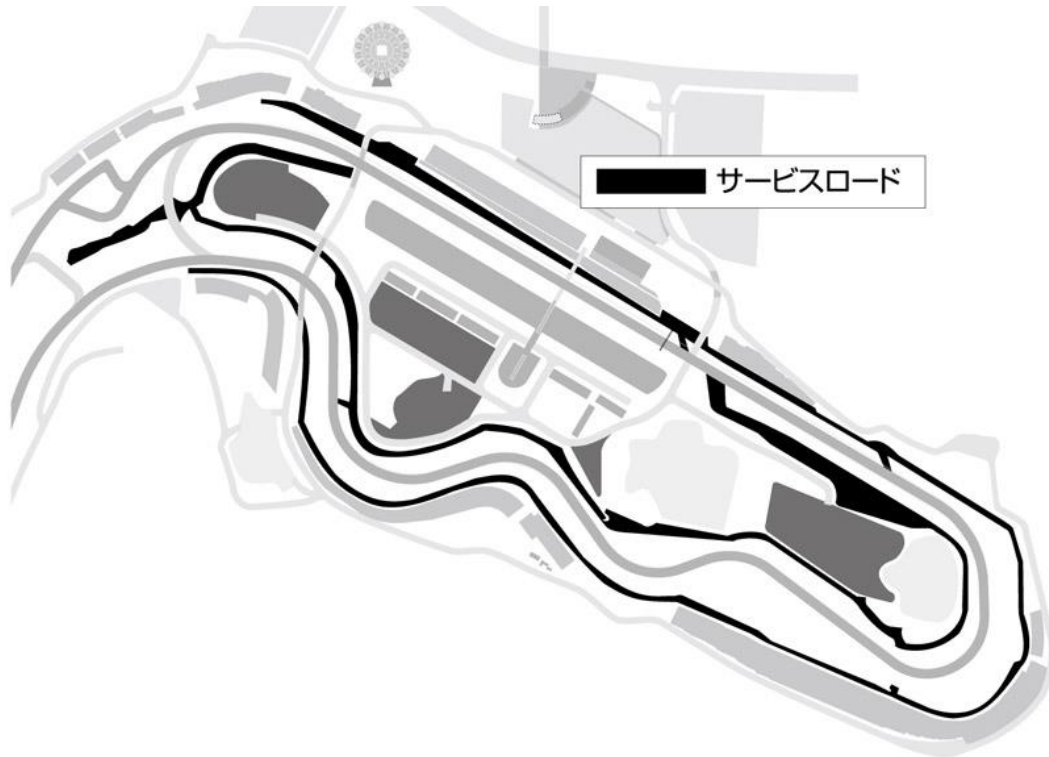


<レース結果>

予選	11 位/11 台中	Time	1'08.476 秒
決勝	9 位/11 台中	BestLap	1'01.857 秒

[参戦レース詳細]

- ・大会日時 2014/8/17
- ・大会名称 鈴鹿クラブマンレース Rd 5
- ・サーキット 鈴鹿国際レーシングコース 東コース



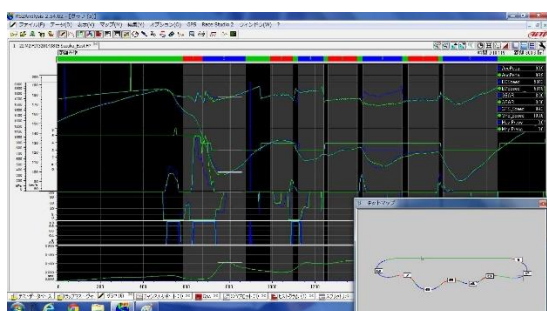
- ・出場クラス FIT1.5 チャレンジ 第2戦
- ・エントリー No22 INOKI M2 BS FIT

[レースレポート]

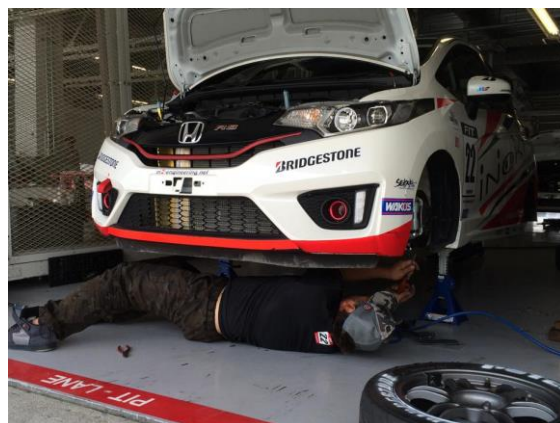
前回から約一か月開いての第三戦、その間テスト走行することは出来なかったがダンパーやキャパシタなどの新パーツを投入して、前回惜しくも逃した表彰台を獲得すべく金曜日からのレースウィークに挑んだ。

金曜日は練習走行が 4 セッションあり、まずはダンパーの性格を見極め調整していく作業から入った。走りながらダンパーの動きや調整した時の変化量などデータを取っていく、同時に自分も第一戦の走り方の改善点を修正していく。3セッション目にフロントダンパーの調整が上手くいき、全体のセッティングの方向性を決めることができ、次の 4 セッション目に中古タイヤながら 1'01.9 秒と第一戦の予選タイムに近いタイムを記録することに成功。

土曜日は 3 セッションの練習走行。前日からさらにリアダンパーなどの調整を行い、以前のダンパーで失速の原因となっていたコーナーリング中の車体の跳ねを無くしていく。調整するごとに跳ねは少なくなっていき、2セッション目には 1'01.5 秒、さらに走り方を少し変えた 3セッション目には 1'01.3 秒と前回の予選タイム 1'01.8 秒を大きく上回ることが出来た。日曜日の予選には大きな期待を持って挑むことに。



データロガーを使って解析



ダンパーセッティング

・予選

日曜日の鈴鹿は天候が不安定で、いつ雨が落ちてくるかわからない状態だった。各チームともタイヤの選択、セッティングの選択に頭を悩ませていた。予選開始の 10 時 50 分、結局雨は降らないまま予選が始まる。今回はポールポジションも狙える位置にいると自分を鼓舞し、少しでもタイムを稼ぐのに他車のスリップストリームを使えるようにと、全車中最後にコースイン。

東コースは距離が短いためタイヤを温めるには 1 周では足りないと思い 2 周ゆっくり走りタイヤに少しずつ熱を入れ、3 周目から前にいたマシンに続いてタイムアタック！1 コーナーへ侵入したときにリアタイヤが大きく滑り、体制を崩してしまいスリップストリームを使おうと追っていた前のマシンと少し距離が空いてしまう。何とか近づこうと焦って最終コーナーに入ったところで再びリアタイヤが滑り、そのままリアタイヤをコース外に落としてしまう。その時左リアタイヤにダメージを負ってしまう。マシンを立て直して、次の周に 1 コーナーに入った瞬間左リアタイヤバーストしてしまい、コースアウト。再びコース上には戻れたものの、そのままピットインを余儀なくされ、タイヤが修復不可能だったためタイムアタック出来ないまま予選が終わってしまい、明日の決勝は最後尾 11 番からのスタートとなってしまった。

・決勝

予選が終わり、昼過ぎに雨が降ったが決勝の16時ごろには雨もあがり、路面も濡きドライでのレースとなった。最後尾からのスタートという景色は良いものではなかったが、1台でも多く抜いてゴールしようという気合は入れることができた。



いつものようにスタート3分前でグリッド上にはドライバーだけとなり、まずはフォーメーションラップでコースを1周。そしていよいよシグナル点灯・・・スタート！！

動き出しはまずまず、丁寧にシフトアップしていき1コーナーまでに2台をパスすることに成功。そのまま9位でオープニングラップを終えると3周目にはさらに2台抜いて7位、続いて4周目に前方のアクシデントに乗じて6位に。前半で順調に順位を上げることに成功するが、ここかペースの速いマシン達とのバトルに。なかなか追い抜くことが出来ずにいたが、粘り強く追いかけて9周目の1コーナーで5位に浮上。さらにもう一台パス出来れば、トップグループの後ろにつくことが出来る。もう一度気合のスイッチを入れ直し、ペースをあげる。1'02.2秒~1'01.9秒のペースで徐々に4番手との差を詰めていくがレース周回もどんどん減っていき、焦りも出始めた15周目の1コーナーで侵入速度が速すぎ、リアタイヤが大きく滑り出し慌ててカウンターステアを切りながら体制を整えようと粘ったが、横を向いた状態でコース上にストップしてしまう。その時にエンジンも止まってしまう、再び動き出した時には9位までポジションを下げてしまい、そのままチェッカー。



スタート直後の1コーナー



ストレートを疾走

[レースを終えての感想]

今回表彰台はおろか、優勝も狙えるくらいのマシンのポテンシャルはあり、土曜日までは流れも良く、今までで一番期待の持てるレースウィークでしたが、予選での自分のミスからのトラブルですべてを台無しにしてしまい、焦った挙句決勝でも挽回したものの最後は再び自分のミスで終わってしまいました。

今までは速さを追及していかなければなりませんでした、今回のレースウィークで速さのレベルはトップを争える位置に来ることが出来ました。これからは、自分の心の強さを持つてるように練習での実績に自信を持ち本番に臨んでいけるようにしたいと思います。

あと今年は残り2戦となりましたが、まずは表彰台そして優勝としっかり地に足つけて狙っていききたいと思います。

今回もレースをサポートしていただき、ありがとうございました。次回は10/19(日)鈴鹿クラブマンレース Rd6 で、鈴鹿西コースが舞台となります。引き続きサポートよろしくお願ひします。



寺西 玲央